

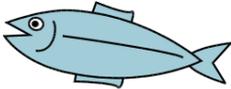
越前町学校給食カレンダー

ふるさと献立（半夏生）



【7月の給食目標】後片付けをしっかりとしましょう

7月3日

<p>【献立名】</p> <p>あぶらあげごはん 牛乳 新玉ねぎのみそ汁 焼き鯖 五目きんぴら</p>	<p>【献立について】</p> <p>昨日は「半夏生」でした。福井県、特に大野市などでは、昔から「丸焼き鯖」を食べる風習があります。そのいわれとして、江戸時代の太田藩主が、田植えで疲れた領民に栄養を摂らせようと、焼いた鯖を食べるようにすすめたことが始まりとされます。なぜ鯖かというと、太田藩の遠く離れた領地（飛び地）に、越前の四ヶ浦地区があり、この時期によくとれた鯖を太田に運んだからです。暑い7月が始まりました。焼き鯖を食べて暑い夏をしっかりと乗り切りましょう。</p>
<p>【盛りつけ図】</p> 	<p style="text-align: right;">半夏生の花</p>   <p style="text-align: center;">半夏生には、丸焼き鯖</p>
<p>【使用地場産物】</p>	<p>米 あつあげ みそ じゃがいも たまねぎ キャベツ にんじん ねぎ こなつな</p>
<p>【クイズ】</p> <p>今日は「鯖」についてのクイズです。 福井県には、鯖を県外に運ぶ道として「鯖街道」とよばれる道がある。○か×か。</p>	<p>【解説】</p> <p>若狭から京都へ結ぶ街道が鯖街道とよばれています。主に魚介類を京都に運ぶための道でしたがその中でも鯖が多かったことから、鯖街道とよばれるようになりました。</p>  <p style="text-align: right;">【こたえ】 ○</p>

～地域によって異なる半夏生に食べるもの～



まる や さば
丸焼き鯖



田植えで疲れた領民に栄養を摂らせようと、焼いた鯖を食べるようにすすめたといわれている。



めし
たこ飯



たこには、吸盤がついた足が八本あり、苗がしっかりと根をはるようにと願いを込めて神様にたこを捧げたといわれている。



はげっしょうもち
半夏生餅



田植えが終わった後に、田の神様に供えて豊作を祈り、田植えの無事に感謝しながら食べる。